



2021



[2021年入会会員のご紹介]

■株式会社アイビックス

○原子力施設等の警備、特定建築物環境衛生管理、人材派遣、教育・研修業務等

■ハントン・アンドリュース・コース外国法事務弁護士事務所

○各種エネルギー、鉱物、情報技術等に関する国際的なコンサルタント業務等

■株式会社ナイス

○原子力の炉心解析、地層処分安全解析、環境影響評価、確率論的リスク評価(PRA)解析等

■韓国原子力研究院

○国の原子力研究開発機関

■日揮グローバル株式会社

○海外における各種プラント・施設のEPC(設計・調達・建設)業務等

原産協会からのご案内

■会員の皆さまへ、ユーザー情報登録のお願い

1. 会員の皆さまへの限定情報にウェブサイトからアクセスできます。
ユーザー情報(会員のメールアドレス、お名前)のご登録が必要です。下記アドレスからお願いします。
<https://www.jaif.or.jp/login/login.php>

2. 任意のパスワードは、ご登録いただくご自身で設定・変更が可能です。



一般社団法人 日本原子力産業協会

www.jaif.or.jp



1月 January

国内

- 8日 ●西日本を中心に記録的な寒波襲来、火力発電利用率が約90%にまで上昇
- 15日 ●学会会議他、東日本大震災発生10年で40学会参集のシンポジウム開催
- 18日 ●菅首相が通常国会開会に際し施政方針演説、2050年カーボンニュートラル実現に向けた施策など示す
- 20日 ●規制委、原子力機構人形峠ウラン濃縮原型プラントの廃止措置計画認可



国会で演説する菅首相 (1/18) ©衆議院

海外

- 11日 ●米国の公営電力事業者、ニュースケール社に同社製SMRのCOL申請準備を指示
- 12日 ●米トランプ政権、宇宙探査と国防目的のSMR利用促進で大統領令発令
- 14日 ●米貿易開発庁、ルーマニアにおけるニュースケール社製SMR建設に向け技術支援
- 20日 ●ブルガリア、コズロドイ7号機を建設する可能性を再検討
- 27日 ●英ホライズン社、新設計画の「開発合意書」申請を取り下げ
- 30日 ●世界初の「華龍一号」、福清5号機が中国で営業運転開始



コズロドイ7号機の建設を再検討するブルガリア内閣 (1/20) ©Bulgarian Government

2月 February

国内

- 1日 ●高浜町、関西電力高浜1、2号機の再稼働(40年超運転)に同意
- 12日 ●経産相と福井県知事、関西電力社長がTV会談、関西電力より使用済み燃料の県外搬出に向け「2023年末を期限に計画地点を確定」と
- 15日 ●美浜町、関西電力美浜3号機の再稼働(40年超運転)に同意
- 26日 ●電力11社がプルトニウム利用計画を発表、「プルサーマルの推進に最大限取り組む」と
- 原子力機構の研究炉「JRR-3」が10年ぶりに運転再開
- 28日 ●福島第一3号機で使用済み燃料プールからの燃料取り出し完了



10年ぶりに運転再開したJRR-3 (2/26) ©日本原子力研究開発機構

海外

- 2日 ●ポーランド内閣、2040年までの新しいエネルギー政策を承認
- 4日 ●欧州の13労組、「EUタクソミー」に原子力を含めることをEC委員長に要請
- 10日 ●ロシア規制当局、鉛冷却高速実証炉「BREST-300」に建設許可発給
- カナダNB州、SMRの州内導入に向けARC社に2,000万加ドル追加提供
- 17日 ●ブルガリア、SMR建設の実行可能性調査でニュースケール社と覚書を締結
- 25日 ●仏国の90万kW級原子炉32基、50年間運転継続する見通しと発表



SMR建設で追加支援金の提供を決めたカナダNB州のヒグズ首相 (2/10) ©Government of New Brunswick, Canada

3月 March

国内

- 9日 ●新たな「東日本大震災からの復興の基本方針」が閣議決定、2025年度までの「第2期復興・再生期間」に向け
- 11日 ●福島第一原子力発電所事故発生から10年、東京電力社長や原子力規制委員長がオンラインで訓示
- 18日 ●広島高裁が四国電力伊方3号機の運転差し止め仮処分命令の取り消しを決定
- 23日 ●梶山経産相がグロッシェーIAEA事務局長とTV会談、福島第一廃炉に係る協力・支援を要請
- 「もんじゅ」サイトへの研究炉設置で地元有識者による検討を開始
- 31日 ●総合エネ調、発電コストについて検証するWGを始動



福島第一事故発生10年を機に訓示を行う東京電力・小早川社長 (3/11) ©東京電力

海外

- 3日 ●OECD/NEA、福島第一原子力発電所事故後の対応などで報告書公表
- 8日 ●エストニア、SMR導入に向け米GEH社、英ロールス・ロイス社と協力
- 9日 ●チェコ規制当局、ドコバニII期工事に立地許可発給
- 10日 ●ロシア・ロスアトム社、トルコでアックユ3号機の本格着工を発表
- 18日 ●中国国外で初の「華龍一号」、パキスタンのカラチ2号機が送電網に接続
- 19日 ●仏大統領と東欧6カ国の首相、EC委員長宛ての共同書簡でEUの温暖化防止における原子力の役割を強調



パキスタンのカラチ原子力発電所 (3/18) ©CNNC

4月 April

国内

- 6日 ●日揮、米ニュースケール社のSMR開発への参画を表明
- 13日 ●政府が福島第一原子力発電所の多核種除去設備(ALPS)処理水処分で「海洋放出を選択」との基本方針を決定
- 14日 ●梶山経産相がグロッシェーIAEA事務局長とTV会談、ALPS処理水に係るレビューミッション派遣など要請
- NUMO、高レベル放射性廃棄物の処分地選定に向けた文献調査で「対話の場」を北海道寿都町で初開催(15日に同神恵内村でも)
- 22日 ●菅首相、米主催の気候サミットで「2030年度の温室効果ガスを2013年度から46%削減」と表明
- 28日 ●杉本福井県知事、関西電力美浜3号機、高浜1、2号機の再稼働(40年超運転)に同意



寿都町で開かれた地層処分に係る「対話の場」(4/14) ©原子力発電環境整備機構

海外

- 1日 ●X-エナジー社、米ワシントン州での小型HTGRの建設で覚書
- 6日 ●アラブ初の商業炉、UAEのバラカ1号機(140万kWの韓国製PWR「APR1400」)が営業運転開始
- 13日 ●米エネ省、3年以内にマイクロ原子炉(電気出力100kW)を運転する「MARVELプロジェクト」開始
- 14日 ●カナダ3州の首相、「SMR技術でカナダが世界のリーダーに」とのFS結果を発表
- 20日 ●IEAの「グローバル・エナジー・レビュー」、2021年に世界の原子力発電量は2%増と予測
- 22日 ●仏EDF、インド原子力発電公社にジャイタプール計画の契約条件提案書を提出



米X-エナジー社と2つの公益電気事業者による覚書の調印 (4/1) ©Energy Northwest

新規制基準適合性の審査状況 2021年12月6日現在

| 電力会社 | 発電所等 | 炉型 | 新規制基準適合性に係る審査 | | 稼働開始日 (原子炉起動) |
|-------|-------|-----|---------------|-----------------|------------------|
| | | | 提出日 | 審査状況 (設置許可日) | |
| 北海道電力 | 泊1 | PWR | 2013.7.8 | 審査中 | |
| | 泊2 | PWR | 2013.7.8 | 審査中 | |
| | 泊3 | PWR | 2013.7.8 | 審査中 | |
| 東北電力 | 女川2 | BWR | 2013.12.27 | 終了(2020.2.26) | |
| | 女川3 | BWR | | | |
| | 東通1 | BWR | 2014.6.10 | 審査中 | |
| 東京電力 | 柏崎刈羽1 | BWR | | | |
| | 柏崎刈羽2 | BWR | | | |
| | 柏崎刈羽3 | BWR | | | |
| | 柏崎刈羽4 | BWR | | | |
| | 柏崎刈羽5 | BWR | | | |

[凡例] 新規制基準適合性に係る審査中
 審査終了(設置変更許可等)
 審査終了(原子炉起動)

| 電力会社 | 発電所等 | 炉型 | 新規制基準適合性に係る審査 | | 稼働開始日 (原子炉起動) | |
|------|-------|----------|---------------|-----------------|------------------|--|
| | | | 提出日 | 審査状況 (設置許可日) | | |
| 東京電力 | 柏崎刈羽6 | ABWR | 2013.9.27 | 終了(2017.12.27) | | |
| | 柏崎刈羽7 | ABWR | 2013.9.27 | 終了(2017.12.27) | | |
| 中部電力 | 浜岡3 | BWR | 2015.6.16 | 審査中 | | |
| | 浜岡4 | BWR | 2014.2.14 | 審査中 | | |
| | 浜岡5 | ABWR | | | | |
| 北陸電力 | 志賀1 | BWR | | | | |
| | 志賀2 | ABWR | 2014.8.12 | 審査中 | | |
| 関西電力 | 美浜3 | PWR | 2015.3.17 | 終了(2016.10.5) | 2021.6.23 | |
| | 高浜1 | PWR | 2015.3.17 | 終了(2016.4.20) | | |
| | 高浜2 | PWR | 2015.3.17 | 終了(2016.4.20) | | |
| | 高浜3 | PWR | 2013.7.8 | 終了(2015.2.12) | 2016.1.29 | |
| | 高浜4 | PWR | 2013.7.8 | 終了(2015.2.12) | 2016.2.26 | |
| 大飯3 | PWR | 2013.7.8 | 終了(2017.5.24) | 2018.3.14 | | |
| | 大飯4 | PWR | 2013.7.8 | 終了(2017.5.24) | 2018.5.9 | |

| 電力会社 | 発電所等 | 炉型 | 新規制基準適合性に係る審査 | | 稼働開始日 (原子炉起動) |
|-----------|----------|------|---------------|-----------------|------------------|
| | | | 提出日 | 審査状況 (設置許可日) | |
| 中国電力 | 島根2 | BWR | 2013.12.25 | 終了(2021.9.15) | |
| | 島根3(建設中) | ABWR | 2018.8.10 | 審査中 | |
| 四国電力 | 伊方3 | PWR | 2013.7.8 | 終了(2015.7.15) | 2016.8.12 |
| | 玄海3 | PWR | 2013.7.12 | 終了(2017.1.18) | 2018.3.23 |
| | 玄海4 | PWR | 2013.7.12 | 終了(2017.1.18) | 2018.6.16 |
| | 川内1 | PWR | 2013.7.8 | 終了(2014.9.10) | 2015.8.11 |
| 九州電力 | 川内2 | PWR | 2013.7.8 | 終了(2014.9.10) | 2015.10.15 |
| | 東海第二 | BWR | 2014.5.20 | 終了(2018.9.26) | |
| 日本原子力発電 | 敦賀2 | PWR | 2015.11.5 | 審査中 | |
| 電源開発 | 大間(建設中) | ABWR | 2014.12.16 | 審査中 | |
| 日本原燃 | 六ヶ所再処理 | - | 2014.1.7 | 終了(2020.7.29) | |
| | MOX燃料加工 | - | 2014.1.7 | 終了(2020.12.9) | |
| リサイクル燃料貯蔵 | むつ中間貯蔵 | - | 2014.1.15 | 終了(2020.11.11) | |

国内

- 12日 ● 関西電力、美浜3号機など40年超プラント3基の運転方針を発表
- 13日 ● 総合エネ調、「2050年カーボンニュートラル」を見据えたエネルギーミックスに関するシナリオ分析で議論を開始
- 20日 ● G7気候・環境相会合がTV会議で開催、梶山経産相「あらゆるエネルギー源、技術をバランスよく活用する重要性」に言及（～21日）
- 25日 ● 経産相と原子力事業者による「使用済燃料対策推進協議会」開催、核燃料サイクルの進展を見据え
- 27日 ● IHI、米ニュースケール社SMR事業への参画を表明
- 31日 ● 福島第一処理水取り扱いに係る基本方針決定を受け政府WGが福島で初会合開催、漁連他から意見聴取



使用済燃料対策推進協議会に臨む梶山経産相(右) (5/25)

海外

- 4日 ● 米規制委、サリー発電所の2基でそれぞれ80年間、2回目の運転期間延長を承認
- 11日 ● 中国で50基目の商業炉、田湾6号機を初めて送電網に接続
- 17日 ● 英ロールス・ロイス社、今秋の設計審査開始に向け同社製SMRの出力を47万kWに増強
- 20日 ● カナダ安全委が実施中の米社製SMRの許認可手続きが技術審査段階に
- 28日 ● 米バイデン政権初の予算教書、過去最高額の原子力予算を計上
- 31日 ● スウェーデンのバットンフォール社、エストニアでSMR導入を計画するフェルミ社への出資決定



米USNC社のSMRと炉心の黒鉛ブロック(5/20) ©USNC

国内

- 8日 ● 東芝ESS製、ITERトロイダル磁場コイル(高さ16.5m、総重量300t)の初号機が完成
- 10日 ● 電力会社原子力本部長らが核物質防護事案を巡り、業界全体の取り組みを規制委に報告
- 18日 ● 経産省、新たな「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定
- 21日 ● 原子力立地地域の将来像を考える「共創会議」が福井県で初会合、自治体・国・電力が参画
- 29日 ● 関西電力美浜3号機が10年ぶりに発電再開、国内初の40年超運転



立地地域の将来像に向け福井県で開かれた「共創会議」初会合(6/21) ©資源エネルギー庁

海外

- 4日 ● 中国の国家発展改革委、中国核工業集団公司のSMR「玲龍一号」実証炉建設計画を承認
- 8日 ● ロシア、シベリア化学コンビナート(SCC)で鉛冷却高速実証炉「BREST-300」を着工
- 16日 ● 中国当局、米国メディアによる「放射能漏れの発生疑惑」報道を受け、台山1号機で小規模な燃料破損の発生を認める
- 21日 ● 米デューク・エナジー社、オコニー原子力発電所で2度目の運転期間延長を申請
- 22日 ● ルーマニア議会、チェルナボダ3、4号機の完成に向け米国との協定を批准
- 28日 ● インドでロシア製のクダンクラム5号機が着工



ロシアのSCCで始まった「BREST-300」の建設工事(6/8) ©TVEL

国内

- 7日 ● 原子力学会が中学教科書のエネルギー・放射線関連の記述で調査報告、新学習指導要領踏まえ
- 8日 ● 日本政府、福島第一処理水の処分に係るIAEAの支援について署名
- 21日 ● 日本原燃の低レベル放射性廃棄物埋設センター増設に関し規制委が事業変更許可を发出
- 27日 ● 関西電力美浜3号機が10年ぶりに本格運転復帰、国内初の40年超運転
- 30日 ● 原子力機構の高温ガス炉「HTTR」が10年半ぶりに運転再開



国内初の40年超運転として再稼働した美浜3号機(右) (7/27)

海外

- 1日 ● 台湾の國聖1号機が早期閉鎖
- 9日 ● 韓国規制当局、建設中の新ハンウル1号機に条件付きで運転認可発給
- 13日 ● 中国CNNC、多目的小型モジュール炉(SMR)「玲龍一号」の実証炉を海南島で本格着工
- 19日 ● スロベニア、国内唯一のクルスコ原子力発電所で2基目の建設に向け手続き開始
- 28日 ● 中国、ロシア製の徐大堡3号機を本格着工
- 30日 ● 中国・台山原子力発電所の運営会社、燃料破損した1号機を停止したと発表



中国で始まった「玲龍一号」の実証炉建設工事(7/13) ©CNNC

国内

- 3日 ● 総合エネ調WG、電源別発電コストの試算結果まとめる
- 18日 ● 環境・経産省の合同WGがパリ協定に基づく長期戦略で案文まとめる、原子力は「必要な規模を持続的に活用」
- 24日 ● 政府、福島第一処理水に係る風評影響で水産物の一時買いを取り含む「当面の対策」まとめる
- 25日 ● 東京電力が福島第一処理水の取り扱いで検討状況発表、海底トンネル放水案や海洋生物の飼育試験など
- 27日 ● IAEAの福島第一廃炉レビューミッション(23日～)が評価レポートを日本政府に提出、26の評価事項と23の助言示す



福島第一を訪れALPS処理水を手にするIAEAゲゼリ氏(8/27) ©東京電力

海外

- 3日 ● 米FPL社がセントルーシー1、2号機で2回目の運転期間延長を規制委に申請、各80年間の運転に
- 9日 ● ロシア・サハ共和国内でロスアトム社の陸上SMR計画に規制当局が建設許可
- 11日 ● 国連欧州経済委の技術概要書、エネルギーミックスの脱炭素化で原子力の必要性を強調
- 20日 ● フィンランドのオルキルオト3号機、タービン点検で営業運転の開始は2022年6月に
- 27日 ● UAEのパラカ原子力発電所で2号機が起動
- 31日 ● ウクライナ、国内で複数のAP1000建設に向けWH社と独占契約を締結



ロシア・サハ共和国のSMR発電所完成予想図(8/9) ©Rosatom

→ 国内

- 6日 ● 福島第一処理水の安全性レビューに向け、日本政府の招きでIAEA幹部が来日(～9日)
- 10日 ● 電力65社が加盟する「電気事業低炭素社会協議会」、2020年度でCO₂排出量が6年連続の減少と発表
- 15日 ● 規制委、中国電力・島根2号機の新規制基準適合性で原子炉設置変更許可を发出
- 22日 ● 東京電力、柏崎刈羽原子力発電所の核物質防護事案で改善措置報告書まとめる
- 27日 ● 三菱重工、IAEAが提唱した世界の原子力関連企業13社による「The Group of Vienna」への参画を発表
- 29日 ● 規制委、廃炉に伴う炉内構造物などの処分基準(LI中深度処分)まとめる



新規基準適合性に係る審査をクリアした島根2号機(右) (9/15)

→ 海外

- 4日 ● 米国で頓挫したAP1000建設計画用の機器、ウクライナで建設停止中のフメルニツキ4号機に活用する可能性浮上
- 13日 ● 米イリノイ州議会で州内のパイロンとドレスデン原子力発電所の存続に向けた法案が成立
 - 中国山東省の石島湾で建設中の高温ガス実証炉HTR-PM、初めて臨界条件を達成
 - 米規制委、テキサスにおける使用済み燃料の中間貯蔵施設計画に建設・操業許可発給
- 16日 ● IAEAの年次予測報告書: 2050年までに高ケースで世界の原子力発電設備容量が倍増
- 23日 ● ポーランドでの米GEH社製SMRの建設に向け、関係する4社が覚書



米テキサス州にあるWCS社の既設の低レベル廃棄物処分場(右)とCISFの予定配置地点(左の四角形) (9/13) ©ISP

→ 国内

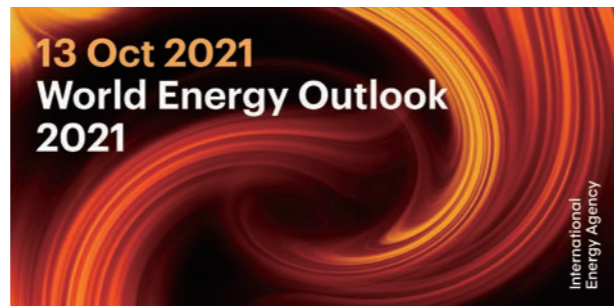
- 4日 ● 岸田内閣発足、萩生田経産相ら就任
- 8日 ● 岸田首相が所信表明、温暖化対策を成長につなげる「クリーンエネ戦略」策定も
- 12日 ● 自民党が総選挙に向け政権公約発表、SMRや核融合の開発も
- 14日 ● 九州電力、川内1・2号機の40年超運転を見据え特別点検実施を発表
- 22日 ● 第6次エネ基本計画が閣議決定
- 26日 ● 2020年に地層処分地選定に係る文献調査に応募した寿都町の片岡町長が再選



40年超運転を見据え特別点検が行われる川内1・2号機 (10/14)

→ 海外

- 7日 ● 英政府、全面的な脱炭素化目標の達成スケジュールを15年前倒しし、2035年に
- 13日 ● IEAの最新「世界エネルギー見通し」、COP26向けに「ネットゼロのペース遅い」と警告
 - 仏電力、ポーランドに2～3サイトで4～6基の欧州加圧水型炉(EPR)建設を提案
- 20日 ● ウクライナ、年末～来年にフメルニツキ4号機などでWH社製AP1000の建設開始
- 27日 ● 英国政府、今後4年間の歳出計画案でサイズウェルC原子力発電所計画に最大17億ポンドの予算措置
- 31日 ● 英国グラスゴーで国連気候変動枠組条約・締約国会議(COP26)が11月13日まで開催



WEO-2021 (10/13) ©IEA

→ 国内

- 6日 ● NUMOの新たな地層処分展示車「ジオ・ラボ号」、出展開始
- 11日 ● 近畿大原子炉「UTR-KINKI」、臨界到達60周年
- 17日 ● 東京電力、福島第一ALPS処理水の海洋放出に係る放射線影響評価を発表
- 22日 ● 原子力委、医療用RIの製造・利用で検討開始
- 25日 ● 東京電力、福島第一1号機の燃料デブリ取り出しに向け、年明けにも水中ロボを投入し調査に入る計画を示す



福島第一1号機に投入される水中ロボ「ROV-A」(11/25)

→ 海外

- 4日 ● UAEでバラカ3号機の建設工事が完了、運転認可の取得に先立ち国際機関らが評価作業実施へ
- 9日 ● 仏マクロン大統領、国内で数十年ぶりに原子炉新設の再開を表明
- 17日 ● 英ロールス・ロイスSMR社、開発したSMRで設計認証審査を申請
- 22日 ● フメルニツキ原子力発電所へのAP1000建設でウクライナの原子力発電公社とWH社が契約締結
- 25日 ● ルーマニア、チェルナボーク3、4号機の完成に向け最初の契約をCANDUエナジー社と締結
- 30日 ● 米エネ省、地元の合意に基づく使用済み燃料の中間貯蔵に向け関係自治体らに情報提供を依頼



UAEのバラカ3号機(11/4) ©ENEC

→ 国内

- 4日 ● 経産省ほか東日本大震災発生から10年でシンポ、風評払拭に向け福島県産食材の紹介も
- 6日 ● 四国電力伊方3号機が2年ぶりに発電再開、司法判断への対応など経て



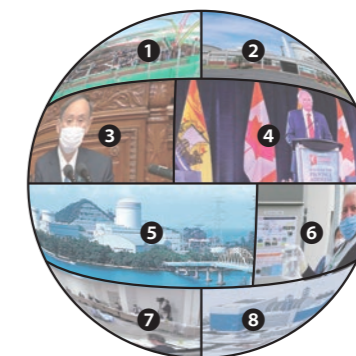
福島産メヒカリのから揚げを試食するモデルのトリンドル玲奈さん(12/4)

→ 海外

- 2日 ● 加OPG社、ダーリントン発電所内で建設するSMRとしてGEH社の「BWRX-300」を選定
 - 英国政府、2030年代初頭の実証に向けた先進的原子炉プログラムにHTGRを選択



カナダのダーリントン原子力発電所と新設用サイト(12/2) ©OPG



- 表紙写真について
- 1 「玲龍一号」の実証炉建設工事
 - 2 10年ぶりに運転再開したJRR-3
 - 3 国会で演説する菅首相
 - 4 SMR建設で追加支援金の提供を決めたカナダNB州のヒッグス首相
 - 5 国内初の40年超運転として再稼働した美浜3号機(右)
 - 6 福島第一を訪れALPS処理水を手にするIAEAゲゼリ氏
 - 7 立地地域の将来像に向け福井県で開かれた「共創会議」初会合
 - 8 サハ共和国のSMR発電所完成予想図

2021年12月6日現在
情報・コミュニケーション部作成